

令和 6 年度宇治市統一学力調査(学びのステップアップ)の結果について

1 目 的

宇治市における学力の課題を解決するため、子ども一人ひとりの、学校や家庭での学習を充実させ、学力調査による学力分析データを活用し、低学年から強みと弱みを把握して授業改善に生かし、基礎学力の定着と家庭での学習習慣を確立する。

2 対 象 宇治市立全小学校第2、3学年

3 内 容

(1)教科に関する調査 国語、算数の2教科(出題範囲は当該学年の10月までの学習内容)

(2)意識調査

4 実施時期 令和6年12月2日(月)~6日(金)までの各校の設定日

5 調査時間 1教科45分(学力調査40分+意識調査5分)

6 実施児童数

	小学校 第2学年	小学校 第3学年
国語 受検者数	1227人	1312人
算数 受検者数	1227人	1313人
実施校数	22校	22校

7 調査結果

(1) 小3

①国語 教科調査

ア 宇治市全体の正答率

		R5 3年	R6 3年
教科総合		60.2	64.0
観点1	知識・技能	71.1	78.0
観点2	思判表	53.5	55.8
領域1	言情文	71.1	78.0
領域2	話・聞	75.3	77.5
領域3	書く	31.0	38.5
領域4	読む	43.3	48.3

※「思判表」・・・「思考・判断・表現」

※「言情文」・・・「言葉・情報・言語文化」

イ 他自治体平均との比較

		R5 3年とR6 3年 の変化	同集団の比較 R5 2年時とR6 3年時
教科総合		↑	↑
観点1	知識・技能	↑	↑
観点2	思判表	↗	↑
領域1	言情文	↑	↑
領域2	話・聞	↗	↗
領域3	書く	↗	↑
領域4	読む	↗	↑

(↑ 2 P以上の増) (↗ 2 P未満の増)
 (↓ 2 P以上の減) (↘ 2 P未満の減)
 (→ 横ばい)

②算数 教科調査

ア 宇治市全体の正答率

		R5 3年	R6 3年
教科総合		70.1	69.3
観点1	知識・技能	75.6	73.1
観点2	思判表	56.8	60.1
領域1	数と計算	69.8	78.2
領域2	図形	72.2	64.2
領域3	測定	68.9	54.3

※「思判表」・・・「思考・判断・表現」

イ 他自治体平均との比較

		R5 3年とR6 3年 の変化	同集団の比較 R5 2年時とR6 3年時
教科総合		↗	→
観点1	知識・技能	↘	↘
観点2	思判表	↑	↑
領域1	数と計算	↑	↗
領域2	図形	↓	↓
領域3	測定	→	↗

(↑ 2 P以上の増) (↗ 2 P未満の増)
 (↓ 2 P以上の減) (↘ 2 P未満の減)
 (→ 横ばい)

③国語 意識調査 (小3)

<p>進んで友だちと話し合いをしている。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>Category</th> <th>R5 (%)</th> <th>R6 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>よくあてはまる</td> <td>34.3</td> <td>31.1</td> </tr> <tr> <td>ややあてはまる</td> <td>37.1</td> <td>44.6</td> </tr> <tr> <td>あまりあてはまらない</td> <td>17.5</td> <td>16.7</td> </tr> <tr> <td>まったくあてはまらない</td> <td>2.9</td> <td>4.1</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>8.2</td> <td>3.5</td> </tr> </tbody> </table>	Category	R5 (%)	R6 (%)	よくあてはまる	34.3	31.1	ややあてはまる	37.1	44.6	あまりあてはまらない	17.5	16.7	まったくあてはまらない	2.9	4.1	その他	8.2	3.5
Category	R5 (%)	R6 (%)																	
よくあてはまる	34.3	31.1																	
ややあてはまる	37.1	44.6																	
あまりあてはまらない	17.5	16.7																	
まったくあてはまらない	2.9	4.1																	
その他	8.2	3.5																	
<p>訳を書いたり分かりやすい順序に気をつけたりして、文を書いている。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>Category</th> <th>R5 (%)</th> <th>R6 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>よくあてはまる</td> <td>21.3</td> <td>23.5</td> </tr> <tr> <td>ややあてはまる</td> <td>43.4</td> <td>42.8</td> </tr> <tr> <td>あまりあてはまらない</td> <td>21.5</td> <td>24.6</td> </tr> <tr> <td>まったくあてはまらない</td> <td>5.1</td> <td>5.0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>8.7</td> <td>4.1</td> </tr> </tbody> </table>	Category	R5 (%)	R6 (%)	よくあてはまる	21.3	23.5	ややあてはまる	43.4	42.8	あまりあてはまらない	21.5	24.6	まったくあてはまらない	5.1	5.0	その他	8.7	4.1
Category	R5 (%)	R6 (%)																	
よくあてはまる	21.3	23.5																	
ややあてはまる	43.4	42.8																	
あまりあてはまらない	21.5	24.6																	
まったくあてはまらない	5.1	5.0																	
その他	8.7	4.1																	
<p>正しい言葉や分かりやすい言葉を使って話したり、文を書いたりしている。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>Category</th> <th>R5 (%)</th> <th>R6 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>よくあてはまる</td> <td>30.4</td> <td>37.9</td> </tr> <tr> <td>ややあてはまる</td> <td>38.2</td> <td>40.4</td> </tr> <tr> <td>あまりあてはまらない</td> <td>18.0</td> <td>14.0</td> </tr> <tr> <td>まったくあてはまらない</td> <td>4.5</td> <td>3.3</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>8.7</td> <td>4.4</td> </tr> </tbody> </table>	Category	R5 (%)	R6 (%)	よくあてはまる	30.4	37.9	ややあてはまる	38.2	40.4	あまりあてはまらない	18.0	14.0	まったくあてはまらない	4.5	3.3	その他	8.7	4.4
Category	R5 (%)	R6 (%)																	
よくあてはまる	30.4	37.9																	
ややあてはまる	38.2	40.4																	
あまりあてはまらない	18.0	14.0																	
まったくあてはまらない	4.5	3.3																	
その他	8.7	4.4																	
<p>したことや聞いたこと、感じたことを正しく伝えるにはどんな言葉を使えばよいかよく考えている。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>Category</th> <th>R5 (%)</th> <th>R6 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>よくあてはまる</td> <td>27.7</td> <td>28.4</td> </tr> <tr> <td>ややあてはまる</td> <td>35.3</td> <td>38.9</td> </tr> <tr> <td>あまりあてはまらない</td> <td>22.2</td> <td>22.0</td> </tr> <tr> <td>まったくあてはまらない</td> <td>5.8</td> <td>5.7</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>9.0</td> <td>5.0</td> </tr> </tbody> </table>	Category	R5 (%)	R6 (%)	よくあてはまる	27.7	28.4	ややあてはまる	35.3	38.9	あまりあてはまらない	22.2	22.0	まったくあてはまらない	5.8	5.7	その他	9.0	5.0
Category	R5 (%)	R6 (%)																	
よくあてはまる	27.7	28.4																	
ややあてはまる	35.3	38.9																	
あまりあてはまらない	22.2	22.0																	
まったくあてはまらない	5.8	5.7																	
その他	9.0	5.0																	
<p>分からないことがあれば、自分で調べるようにしている。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>Category</th> <th>R5 (%)</th> <th>R6 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>よくあてはまる</td> <td>28.4</td> <td>32.5</td> </tr> <tr> <td>ややあてはまる</td> <td>33.2</td> <td>32.9</td> </tr> <tr> <td>あまりあてはまらない</td> <td>20.0</td> <td>20.2</td> </tr> <tr> <td>まったくあてはまらない</td> <td>8.4</td> <td>8.7</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>10.0</td> <td>5.8</td> </tr> </tbody> </table>	Category	R5 (%)	R6 (%)	よくあてはまる	28.4	32.5	ややあてはまる	33.2	32.9	あまりあてはまらない	20.0	20.2	まったくあてはまらない	8.4	8.7	その他	10.0	5.8
Category	R5 (%)	R6 (%)																	
よくあてはまる	28.4	32.5																	
ややあてはまる	33.2	32.9																	
あまりあてはまらない	20.0	20.2																	
まったくあてはまらない	8.4	8.7																	
その他	10.0	5.8																	

④算数 意識調査 (小3)

<p>算数の学習で、図をかいて考えたり、大きさや長さをはかって考えたりするのは楽しい。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>Grade</th> <th>よくあてはまる</th> <th>ややあてはまる</th> <th>あまりあてはまらない</th> <th>まったくあてはまらない</th> <th>その他</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R6</td> <td>46.8</td> <td>31.3</td> <td>14.3</td> <td>4.7</td> <td>2.8</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>46.9</td> <td>29.6</td> <td>13.7</td> <td>5.3</td> <td>4.5</td> </tr> </tbody> </table>	Grade	よくあてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	その他	R6	46.8	31.3	14.3	4.7	2.8	R5	46.9	29.6	13.7	5.3	4.5
Grade	よくあてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	その他														
R6	46.8	31.3	14.3	4.7	2.8														
R5	46.9	29.6	13.7	5.3	4.5														
<p>難しい問題でも、がんばっていろいろな考えや解き方を試したり、工夫したりしている。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>Grade</th> <th>よくあてはまる</th> <th>ややあてはまる</th> <th>あまりあてはまらない</th> <th>まったくあてはまらない</th> <th>その他</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R6</td> <td>42.8</td> <td>36.9</td> <td>13.2</td> <td>4.2</td> <td>3.0</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>42.5</td> <td>34.2</td> <td>14.5</td> <td>4.3</td> <td>4.5</td> </tr> </tbody> </table>	Grade	よくあてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	その他	R6	42.8	36.9	13.2	4.2	3.0	R5	42.5	34.2	14.5	4.3	4.5
Grade	よくあてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	その他														
R6	42.8	36.9	13.2	4.2	3.0														
R5	42.5	34.2	14.5	4.3	4.5														
<p>新しい問題を解くときには、それまでに学んだ解き方を使って考えている。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>Grade</th> <th>よくあてはまる</th> <th>ややあてはまる</th> <th>あまりあてはまらない</th> <th>まったくあてはまらない</th> <th>その他</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R6</td> <td>43.6</td> <td>34.7</td> <td>14.8</td> <td>4.0</td> <td>3.0</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>44.2</td> <td>34.4</td> <td>13.0</td> <td>3.6</td> <td>4.9</td> </tr> </tbody> </table>	Grade	よくあてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	その他	R6	43.6	34.7	14.8	4.0	3.0	R5	44.2	34.4	13.0	3.6	4.9
Grade	よくあてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	その他														
R6	43.6	34.7	14.8	4.0	3.0														
R5	44.2	34.4	13.0	3.6	4.9														
<p>自分がかいた計算の式や図が間違っていないか確かめている。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>Grade</th> <th>よくあてはまる</th> <th>ややあてはまる</th> <th>あまりあてはまらない</th> <th>まったくあてはまらない</th> <th>その他</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R6</td> <td>32.5</td> <td>35.5</td> <td>21.1</td> <td>7.6</td> <td>3.3</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>32.2</td> <td>36.3</td> <td>19.3</td> <td>7.0</td> <td>5.2</td> </tr> </tbody> </table>	Grade	よくあてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	その他	R6	32.5	35.5	21.1	7.6	3.3	R5	32.2	36.3	19.3	7.0	5.2
Grade	よくあてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	その他														
R6	32.5	35.5	21.1	7.6	3.3														
R5	32.2	36.3	19.3	7.0	5.2														
<p>問題を解いた後で、見直しや間違い直しをしている。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>Grade</th> <th>よくあてはまる</th> <th>ややあてはまる</th> <th>あまりあてはまらない</th> <th>まったくあてはまらない</th> <th>その他</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R6</td> <td>37.5</td> <td>36.8</td> <td>16.6</td> <td>5.5</td> <td>3.6</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>41.0</td> <td>33.7</td> <td>14.8</td> <td>5.2</td> <td>5.3</td> </tr> </tbody> </table>	Grade	よくあてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	その他	R6	37.5	36.8	16.6	5.5	3.6	R5	41.0	33.7	14.8	5.2	5.3
Grade	よくあてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	その他														
R6	37.5	36.8	16.6	5.5	3.6														
R5	41.0	33.7	14.8	5.2	5.3														

(2) 小2

①国語 教科調査

ア 宇治市全体の正答率

		R5 2年	R6 2年
教科総合		78.5	82.8
観点1	知識・技能	90.6	85.4
観点2	思判表	67.4	80.4
領域1	言情文	90.6	85.4
領域2	話・聞	89.5	90.0
領域3	書く	49.6	74.7
領域4	読む	59.1	76.8

※「思判表」・・・「思考・判断・表現」

※「言情文」・・・「言葉・情報・言語文化」

イ 他自治体平均との比較

		R5 2年とR6 2年 の変化
教科総合		↗
観点1	知識・技能	↘
観点2	思判表	↗
領域1	言情文	↘
領域2	話・聞	↗
領域3	書く	↑
領域4	読む	↗

(↑) 2 P以上の増

(↗) 2 P未満の増

(↘) 2 P以上の減

(↘) 2 P未満の減

(→) 横ばい

②算数 教科調査

ア 宇治市全体の正答率

		R5 2年	R6 2年
教科総合		78.0	74.4
観点1	知識・技能	83.9	79.0
観点2	思判表	55.7	56.8
領域1	数と計算	73.5	79.6
領域2	図形	85.4	76.3
領域3	測定	77.9	61.2
領域4	データ活用	90.4	84.2

※「思判表」・・・「思考・判断・表現」

イ 他自治体平均との比較

		R5 2年とR6 2年 の変化
教科総合		↘
観点1	知識・技能	↘
観点2	思判表	↘
領域1	数と計算	↗
領域2	図形	↘
領域3	測定	↓
領域4	データ活用	↓

(↑) 2 P以上の増

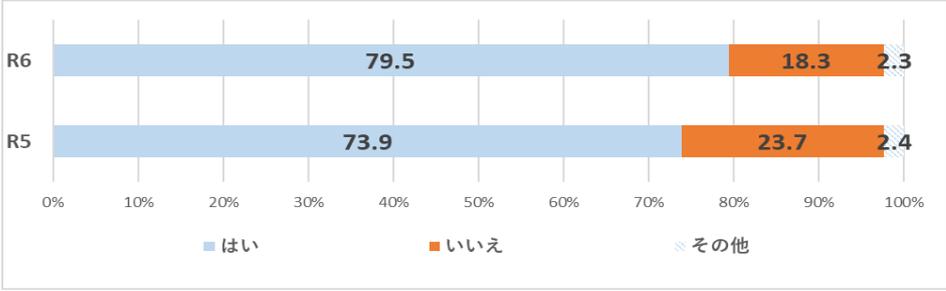
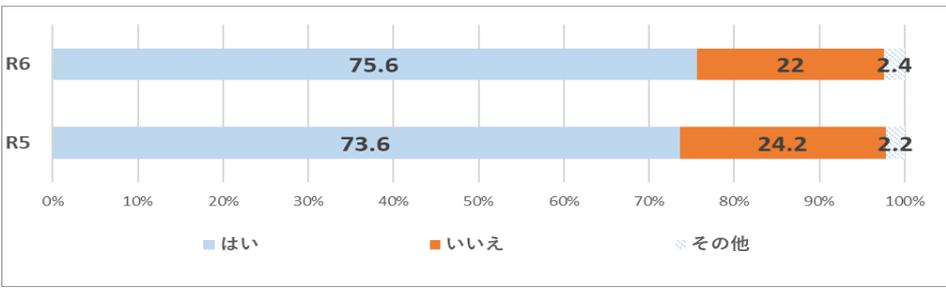
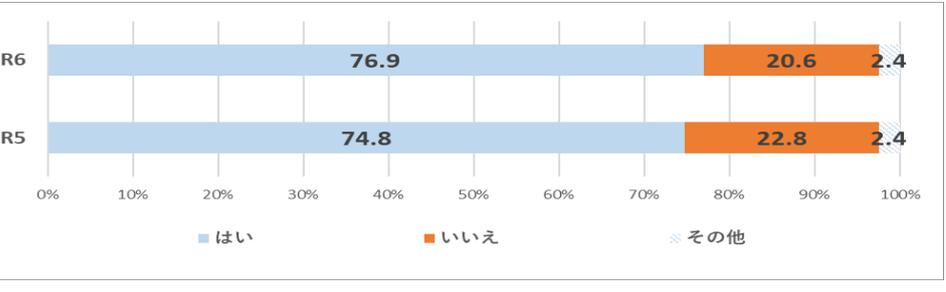
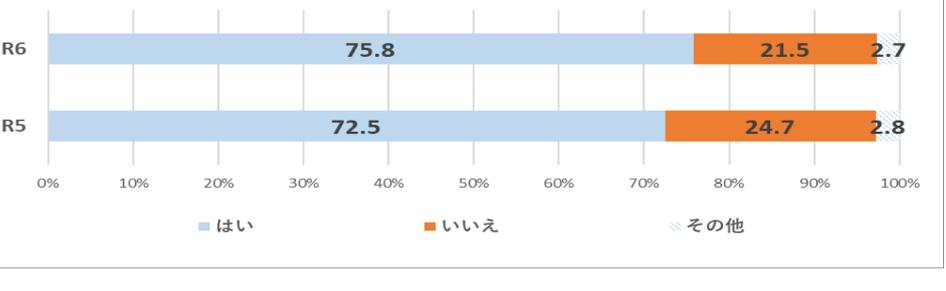
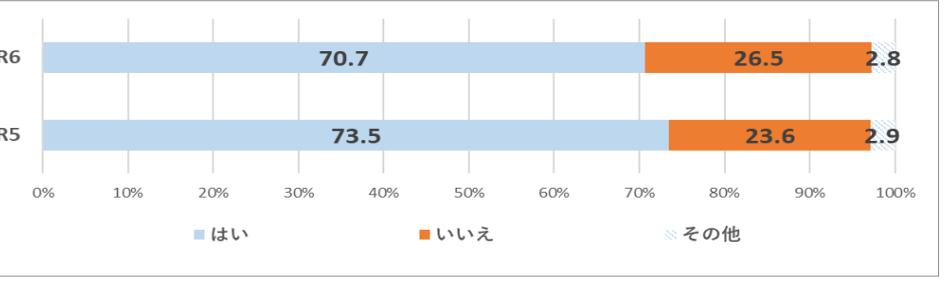
(↗) 2 P未満の増

(↘) 2 P以上の減

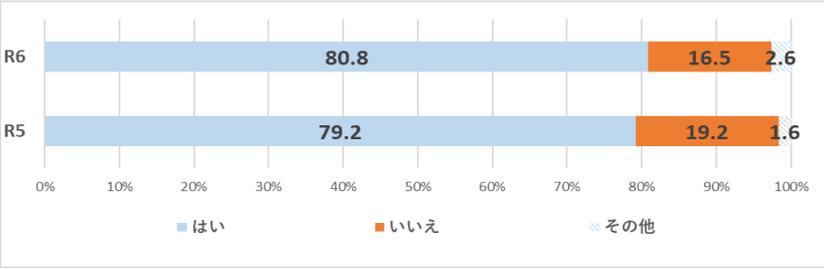
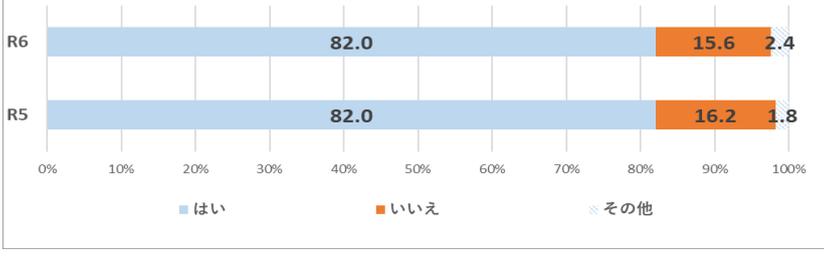
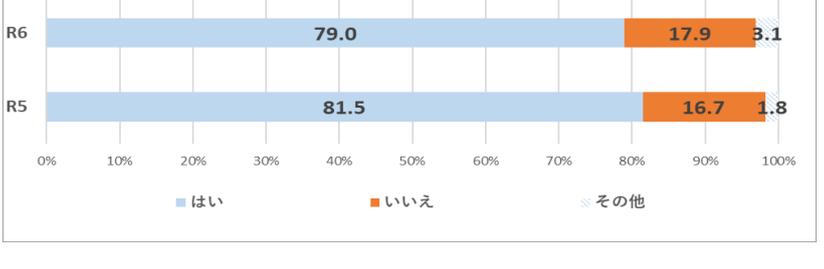
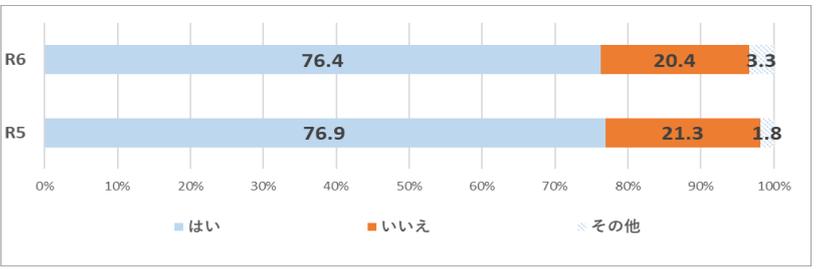
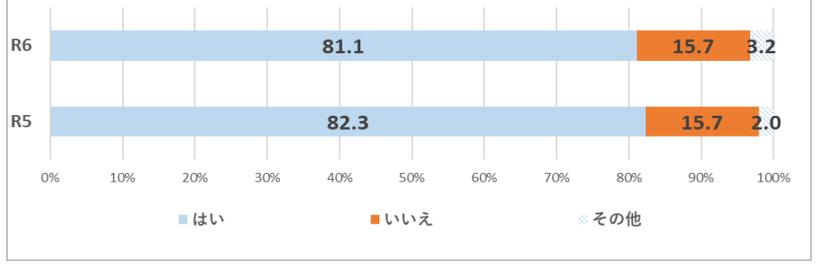
(↘) 2 P未満の減

(→) 横ばい

③国語 意識調査 (小2)

<p>進んで友だちと話し合 いをしている。</p>	 <table border="1"> <thead> <tr> <th>調査年度</th> <th>はい (%)</th> <th>いいえ (%)</th> <th>その他 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R6</td> <td>79.5</td> <td>18.3</td> <td>2.3</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>73.9</td> <td>23.7</td> <td>2.4</td> </tr> </tbody> </table>	調査年度	はい (%)	いいえ (%)	その他 (%)	R6	79.5	18.3	2.3	R5	73.9	23.7	2.4
調査年度	はい (%)	いいえ (%)	その他 (%)										
R6	79.5	18.3	2.3										
R5	73.9	23.7	2.4										
<p>訳を書いたり分かりや すい順序に気をつけたり して、文を書いている。</p>	 <table border="1"> <thead> <tr> <th>調査年度</th> <th>はい (%)</th> <th>いいえ (%)</th> <th>その他 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R6</td> <td>75.6</td> <td>22</td> <td>2.4</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>73.6</td> <td>24.2</td> <td>2.2</td> </tr> </tbody> </table>	調査年度	はい (%)	いいえ (%)	その他 (%)	R6	75.6	22	2.4	R5	73.6	24.2	2.2
調査年度	はい (%)	いいえ (%)	その他 (%)										
R6	75.6	22	2.4										
R5	73.6	24.2	2.2										
<p>正しい言葉や分かりや すい言葉を使って話し たり、文を書いたりし ている。</p>	 <table border="1"> <thead> <tr> <th>調査年度</th> <th>はい (%)</th> <th>いいえ (%)</th> <th>その他 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R6</td> <td>76.9</td> <td>20.6</td> <td>2.4</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>74.8</td> <td>22.8</td> <td>2.4</td> </tr> </tbody> </table>	調査年度	はい (%)	いいえ (%)	その他 (%)	R6	76.9	20.6	2.4	R5	74.8	22.8	2.4
調査年度	はい (%)	いいえ (%)	その他 (%)										
R6	76.9	20.6	2.4										
R5	74.8	22.8	2.4										
<p>したことや聞いたこ と、感じたことを正し く伝えるにはどんな言 葉を使えばよいかよく 考えている。</p>	 <table border="1"> <thead> <tr> <th>調査年度</th> <th>はい (%)</th> <th>いいえ (%)</th> <th>その他 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R6</td> <td>75.8</td> <td>21.5</td> <td>2.7</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>72.5</td> <td>24.7</td> <td>2.8</td> </tr> </tbody> </table>	調査年度	はい (%)	いいえ (%)	その他 (%)	R6	75.8	21.5	2.7	R5	72.5	24.7	2.8
調査年度	はい (%)	いいえ (%)	その他 (%)										
R6	75.8	21.5	2.7										
R5	72.5	24.7	2.8										
<p>分からないことがあれ ば、自分で調べるよう にしている。</p>	 <table border="1"> <thead> <tr> <th>調査年度</th> <th>はい (%)</th> <th>いいえ (%)</th> <th>その他 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R6</td> <td>70.7</td> <td>26.5</td> <td>2.8</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>73.5</td> <td>23.6</td> <td>2.9</td> </tr> </tbody> </table>	調査年度	はい (%)	いいえ (%)	その他 (%)	R6	70.7	26.5	2.8	R5	73.5	23.6	2.9
調査年度	はい (%)	いいえ (%)	その他 (%)										
R6	70.7	26.5	2.8										
R5	73.5	23.6	2.9										

④算数 意識調査 (小2)

<p>算数の学習で、図をかいて考えたり、大きさや長さをはかって考えたりするのは楽しい。</p>	 <table border="1"> <thead> <tr> <th>Grade</th> <th>はい (%)</th> <th>いいえ (%)</th> <th>その他 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R6</td> <td>80.8</td> <td>16.5</td> <td>2.6</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>79.2</td> <td>19.2</td> <td>1.6</td> </tr> </tbody> </table>	Grade	はい (%)	いいえ (%)	その他 (%)	R6	80.8	16.5	2.6	R5	79.2	19.2	1.6
Grade	はい (%)	いいえ (%)	その他 (%)										
R6	80.8	16.5	2.6										
R5	79.2	19.2	1.6										
<p>難しい問題でも、がんばっているいろいろな考えや解き方を試したり、工夫したりしている。</p>	 <table border="1"> <thead> <tr> <th>Grade</th> <th>はい (%)</th> <th>いいえ (%)</th> <th>その他 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R6</td> <td>82.0</td> <td>15.6</td> <td>2.4</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>82.0</td> <td>16.2</td> <td>1.8</td> </tr> </tbody> </table>	Grade	はい (%)	いいえ (%)	その他 (%)	R6	82.0	15.6	2.4	R5	82.0	16.2	1.8
Grade	はい (%)	いいえ (%)	その他 (%)										
R6	82.0	15.6	2.4										
R5	82.0	16.2	1.8										
<p>新しい問題を解くときには、それまでに学んだ解き方を使って考えている。</p>	 <table border="1"> <thead> <tr> <th>Grade</th> <th>はい (%)</th> <th>いいえ (%)</th> <th>その他 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R6</td> <td>79.0</td> <td>17.9</td> <td>3.1</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>81.5</td> <td>16.7</td> <td>1.8</td> </tr> </tbody> </table>	Grade	はい (%)	いいえ (%)	その他 (%)	R6	79.0	17.9	3.1	R5	81.5	16.7	1.8
Grade	はい (%)	いいえ (%)	その他 (%)										
R6	79.0	17.9	3.1										
R5	81.5	16.7	1.8										
<p>自分がかいた計算の式や図が間違っていないか確かめている。</p>	 <table border="1"> <thead> <tr> <th>Grade</th> <th>はい (%)</th> <th>いいえ (%)</th> <th>その他 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R6</td> <td>76.4</td> <td>20.4</td> <td>3.3</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>76.9</td> <td>21.3</td> <td>1.8</td> </tr> </tbody> </table>	Grade	はい (%)	いいえ (%)	その他 (%)	R6	76.4	20.4	3.3	R5	76.9	21.3	1.8
Grade	はい (%)	いいえ (%)	その他 (%)										
R6	76.4	20.4	3.3										
R5	76.9	21.3	1.8										
<p>問題を解いた後で、見直しや間違い直しをしている。</p>	 <table border="1"> <thead> <tr> <th>Grade</th> <th>はい (%)</th> <th>いいえ (%)</th> <th>その他 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R6</td> <td>81.1</td> <td>15.7</td> <td>3.2</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>82.3</td> <td>15.7</td> <td>2.0</td> </tr> </tbody> </table>	Grade	はい (%)	いいえ (%)	その他 (%)	R6	81.1	15.7	3.2	R5	82.3	15.7	2.0
Grade	はい (%)	いいえ (%)	その他 (%)										
R6	81.1	15.7	3.2										
R5	82.3	15.7	2.0										

8 結果概要

- (1) 小3国語の正答率同集団の伸び(R5 2年とR6 3年との比較)について、他自治体と平均との比較では、観点「知識・技能」「思考・判断・表現」、領域「言葉・情報・言語文化」「書くこと」「読むこと」において、2P以上、領域「話すこと・聞くこと」において2P未満の伸びがみられた。最も伸びが見られたのは、領域「読むこと」であった。
- (2) 小3算数の正答率同集団の伸び(R5 2年とR6 3年との比較)について、他自治体と平均との比較では、観点「思考・判断・表現」において2P以上の伸び、領域「数と計算」「測定」において2P未満の伸びが見られた。一方、領域「図形」において2P以上の減少がみられた。
- (3) 小3国語の意識調査では、全ての質問で前年度より肯定的な回答割合が増加した。特に「進んで友だちと話し合いをしている。」「正しい言葉や分かりやすい言葉を使って話したり、文を書いたりしている。」で肯定的な回答割合が大きく増加している。一方、「訳を書いたり分かりやすい順序に気をつけたりして、文を書いている。」「したことや聞いたことを、感じたことを正しく伝えるにはどんな言葉を使えばよいかをよく考えている。」「分からないことがあれば、自分で調べるようにしている。」では、肯定的割合は増加しているものの、いまだ30%近くの児童が否定的に回答している。
- (4) 小3算数の意識調査では、「算数の学習で、図をかいて考えたり、大きさや長さをはかって考えたりするのは楽しい。」「難しい問題でも、がんばっていろいろな考えや解き方を試したり、工夫したりしている。」以外の項目で、肯定的回答割合が減少した。
- (5) 小2 国語では、正答率では、昨年度の2年生との比較(他自治体との平均との比較)において、観点「思考・判断・表現」、領域「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」で増加した。意識調査では、「分からないことがあれば自分で調べる。」以外の項目について、昨年度と比べて、肯定的回答割合が増加した。
- (6) 小2 算数において、正答率では、昨年度の2年生との比較(他自治体との平均との比較)において、領域「数と計算」では増加したが、その他の項目は減少した。意識調査では、「算数の学習で、図をかいて考えたり、大きさや長さをはかって考えたりするのは楽しい。」「難しい問題でも、がんばっていろいろな考えや解き方を試したり、工夫したりしている。」以外の項目で、肯定的回答割合が減少した。

9 取組の成果

本調査2年目の実施である3年生において、教科正答率及び、意識調査の肯定的回答割合において、概ね、昨年度よりの伸びや増加が見られるなど、下記の取組について一定の成果が確認できる。

- (1) 低学年から、子ども一人ひとりに対応したつまずきや苦手箇所を把握し、それに対応した個別の支援を行うことができた。
- (2) 調査結果を活用し、家庭が連携して家庭学習の取組を進めることができた。

【R6 取組例】

- 個別懇談会等を活用し、子ども一人ひとりの強みと弱みを保護者と共有し、その子に応じた学習方法をアドバイス。
 - 文章を読んで考えたことを書くなど、「読む力」の育成を目指した家庭学習の実施。
 - 児童の家庭学習ノートを掲示するなど、児童同士が家庭学習の内容や方法を交流する機会を持つ。
 - 普段の授業に直接つながる家庭学習の出し方の工夫。
- (3) 読書習慣形成の取組が、小3国語における「読むこと」領域の伸びにつながった。

【R6 取組例】

- 宇治市乳幼児教育・保育協働研修会にて、就学前からの読書習慣形成に向けた研修を実施。
- 朝読書の実施（BGMを放送、読書通帳（読書ノート）の活用など工夫）。
- 全校読書の実施（感想の交流や知らない語句について考える時間を設定、教師によるシャッフル読み聞かせ、図書委員によるポスター製作など工夫）。
- 夏休みに親子読書の取組を実施。
- 図書館司書と連携し、教科の学習と関連した本の並行読書を推進。
- 家庭など幅広い機会に読書に親しむことができるよう、宇治市電子図書館を活用。
- 図書ボランティアとの連携（読み聞かせイベントの実施、手作り本のしおりの配付など工夫）。

10 課題に対する対応

(1) 家庭との連携について

家庭との連携については、児童の学習習慣、読書習慣の確立に重要な役割を担うことから、引き続き、下記の取組を推進する。

- ① 児童の学習習慣の確立を目指し、学力調査結果をもとに、子ども一人ひとりの強みと弱みを保護者と共有する等、学校と家庭が連携して家庭学習の取組を進める。
- ② 就学前からの読書習慣形成に向けて、家庭、学校、教育委員会、就学前施設、市長部局等の連携を深め、本に親しみ、進んで読書に取り組む態度を養うための取組を推進する。

(2) 子どもの学びについて

- ① 本調査の分析を反映し、以下の観点から具体的な取組を進める。
 - 算数「図形」等、課題の大きかった領域の詳細分析を行い、授業改善や、指導内容の定着に向けた取組の充実を図る。
 - 考えを正しく伝えたり、問題の見直しや間違いの確認をする項目になお課題が見られることから、苦手な児童であっても、主体的に自分の考えを伝えたり、自分の学習を振り返ったりする活動を確保できるよう授業改善を進める。
- ② 学力調査結果を活用して子ども一人ひとりに応じたカリキュラムを作成し、タブレット端末等を活用してドリル学習を行う。さらに確認テストにより達成度を診断し、つまずきの克服に取り組む。

宇治市統一学力調査（学びのステップアップ）

宇治市教育委員会

児童一人ひとりの学力状況等を把握・分析し、個別最適な学びの実現を図るための調査を実施します。

宇治市では、令和5年度から小学2、3年生を対象に学力調査を実施しています。

この調査は、現学年の10月末までの学習内容の調査を行うことで、定着の弱い学習内容について、児童や保護者のみなさんと学校が確認するために行います。調査結果をもとに、児童一人ひとりの弱点を補強する復習プリントやドリル形式の問題に取り組み、個別最適な学びの実現により主体的に学ぶ力を養うとともに次年度に向けてステップアップの目標を持たせることを目的としています。

この調査により、子どもたちの得意・苦手分野を把握し、苦手克服につながる学習に取り組み、次の学年に向けたさらなる意欲の向上につながることを期待しています。

個人票の返却

内容（単元）ごとの結果がわかり、自分の得意・苦手が把握できます。



教科ごとにアドバイスが書かれており、復習に役立てることができます。

※裏面には○×のついた答案のスクリーン画像が掲載されています。自分の回答が確認でき、振り返りをサポートします。

ドリルパークとのデータ連携

学力調査の診断結果をもとに、一人ひとりの学習到達度に応じた苦手克服カリキュラムを自動で生成。苦手な問題に取り組んだ後には、確認テストを提示し、学習内容が定着したか再度診断することで、やり残しを防ぎます。

個別カリキュラム自動生成

理解度に応じた個別ドリルの提示

個別
カリキュラム
自動生成

- ・学習範囲の省力化、効率化
- ・習熟度別カリキュラム選定
(正答率と比較して、最適な問題を出題)

再診断のための確認テスト

個別カリキュラムの確認テスト

確認テスト
自動生成

- ・個別カリキュラムを元にしたテストを実施。間違えた場合は、更にふり返しを行う。
- ・テスト完了後、通常のドリルパークへ誘導し、継続学習を支援



調査の内容

- ①対象学年 小学2、3年生
- ②実施教科 国語、算数
- ③出題範囲 当該学年の10月までに学習した内容
(例：小学3年生の問題は、小学3年生の10月までに学習した内容です。)